私たちは、「生活者」「納税者」 「消費者」「働く者」の立場に立ち、 共に生きる社会をつくります。

政治がひと時代昔に戻ってしまい ました。マネーゲームでひと握りの 人だけが潤い、そのつけは多くの国 民に。もう一度「人」に光のあたる 政治、暮らしを支える政治へ。

みなよし稲生は**「生活が原点」**を 信条にひたむきに努力を続けます。 もう一度チャンスを与えてください。

鹿児島市生まれ 出生当日が 田植えの為、「稲生」と命名

鹿児島市立原良小学校卒業 1963年3月 1966年3月 鹿児島市立城西中学校卒業 1969年3月 鹿児島県立鶴丸高校卒業 1973年 3月 立命館大学経済学部卒業

1973年4月 鹿児島市役所入職 民主党鹿児島県第4区総支部代表就任 2008年1月 2009年8月 第45回衆議院選挙において初当選

2012年12月 第46回衆議院選挙において惜敗

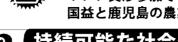
みなよし いなお

選挙事務所/鹿児島市上之園町24-10 TEL099-812-8119

バブル経済の再現で、将来世代に負担をつけ回しすることは許さない。



TPP交渉参加でも主要農産物や保険・医療制度は例外措置を求め、

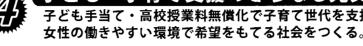


最低保障年金の実現、医療保険の安定で将来も安心できる社会保障制度を確立。

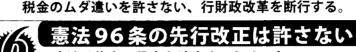


て支援のさらなる充実

子ども手当て・高校授業料無償化で子育て世代を支援、子どもの貧困解消



国民負担の前に国会議員の定数削減から。



憲法は権力の暴走を防止するためのもの。 立憲主義に反する憲法96条の先行改正は許さない。



|再生可能エネルギーの推進で雇用を拡大、

脱原発社会をめざす。再生可能エネルギーの導入促進で地元雇用を創出。 原発再稼働は何より安全性の確保と地域の合意が前提。



の 選 挙 公 報 は 公職 選

挙法第百六十

九

条第二

項

の

規

定

に

ょ

IJ

候

補

者

か

ら提

出

さ

た 原

文 の

ま

挙

員

会

五

JAPAN RESTORATION PARTY

逃げずに真正面から

日本維新の会は、選挙目当てでものを言う政党ではありません。日本の未来にとって、 いま必要な改革に真正面から取り組みます。批判や反対論から逃げずに必要な改革を断行します。 この改革は、既得権益に支持された政党には絶対できません。抵抗勢力と闘い、 日本の未来を切り拓くことができるのは、しがらみのない日本維新の会だけです。

統治機構の改革

- ■道州制の導入で、国の役割を絞り込み、国の機能強化と地方の自立を促進
- ■首相公選制の導入で、国民から直接信託を受けた首相が国政を運営
- ■衆参合併による一院制で、迅速な意思決定が可能な国会の実現 これら3つの改革について国民の考えを直接問いやすくするため憲法96条の発議要件の改正

税と社会保障制度改革

■フロー課税(所得税、法人税)の引き下げ ■広く薄い年金目的の特別相続税の創設 ■消費税の地方税化と 地方間財政調整制度の創設 ■持続可能な制度とするため、公的年金の積立方式への移行 ■自立化に向けた生活保護制度の見直し ■同一労働同一条件の徹底

主権・平和・国益を守る外交・防衛

■安全保障政策の強化(NSC、武器輸出3原則の見直し、集団的自衛権の見直し) ■法の支配や自由主義に基づく 普天間基地の固定化を避けるため辺野古移設推進) ■TPP参加。自由貿易圏の拡大

既得権益と闘う成長戦略

■農協や医療法人といった特殊な法人に特権を認めず競争原理を導入

■農業を国際競争力のある成長産業に
■混合診療の解禁
■統合型リゾート(IR)の実現
■発送電の分離

能新の改革を日本全国へ

- ■公務員を身分から職業へ ■厳格な天下り規制 ■教育を役人の手から国民に取り戻す
- ■公会計制度改革による財政運営のコントロール強化 ■徹底した行財政改革

独立行政法人国際協力機構元青年海外協力隊(14-3日昭和四十九年一月二十七 ()ロッ $C \supset$



まを 掲 理 たも の 自民党 で あ IJ 参議院 ま す 0



いものいじめをするな、

を言うな、

せよ、

嘘を言

道を説き脈々と受け継がれ

てきた

こうしたごく当たり前のことが

活力あ

きてい

おつじ秀久」

鹿児島選挙区

4期24年の経験を故郷鹿児島の発展のために を取り戻すため



動けば周りが変わるし見えてくるものが

あります。つべこべ言わずまずは実行、

体当たりの精神で行動します。

検索タ

地面を這いずり回って光の当たってい ないところ、谷間になっているところ に力を注ぎ弱者の視点で行動します。

一日一日を命がけで仕事をする「一日懸命」を旨として、無私 の心、県民、国民の立場になって行動します。

ぼっけもん政治家!尾辻秀久の応援団

公式サイト http://www.otsuji.gr.jp/

プロフィール

昭和15年、鹿児島県生まれ。防衛大、東 大中退、県議2期。(財)日本遺族会会長。 前参議院副議長、元厚生労働大臣、 元財務副大臣を歴任。

フェイスブックページにて情報発信中!

E-mail:hidehisa_otsuji@sangiin.go.jp

五年七

「自民と対立軸 鮮明に」

国会論戦でも、メディアでも「自共対決」に注目が

メディアも、

自民党の重鎮も、注目の『自共対決』

自民党と共産党こそが『二大な私にいわせると

馬毛島への米軍基地移設反対。

消費増税中止で、

地域経済と雇用を活性化させる企業工場を再誘

さらに豊かな経済

■経歴:ローソングループ会社・経営企画室・主任等を歴任、現(宗)幸福の科学 「HS政経塾」 第4期生

幸福実現党公認

この

選挙公報は

公職

国防強化

の会、

ています。

国民への公約を裏切った民

主党。維新

安倍政権の

政治に対して、

不安や危機

ノミクス、

自民党・

三極」どころか自民党の補完勢力です

。自民党の

自民党政

対案を示してたた

かっている



日本共産党の改革提言

共産党を大きく伸

ばしてください

のは日本共産党です。

賃上げで景気回復を消費税増税ストップ!

景気を立て直す大道です。 賃上げと安定した雇用をふやすことこそ、

公約違反のTPP参加の撤回を求め、 TPP参加をただちに撤回 農業、医療、食の安全、雇用を守ります

再稼働と原 発輸出

(5月6日付け南日本新聞)。 川内原発の再稼働反対は、県民の56・7%

9条まもり生かす政治を 憲法をまもり生かす政治をつくります。命がけで反戦平和をつらぬいた党として

公政権に正面から対決する

野口ひろし 野野口 寛 図 @nogutihirosi ホームページ http://www11.ocn.ne.jp/~jcp-kag/nhtop.html

●1945年生まれ。甲南高校、九州大学理学部卒。 ●県立高校教員を経て西之表市議9期。●党県国政対策委員長。

第23回参議院議員通常選挙

(一部地域を除く) 〇投 (日曜日) (金曜日) ~7月20日(土曜日) 7月 5 H

(一部地域を除く)

- 今回の選挙から成年被後見人の方も投票ができます。(自ら投票用紙に記載することができない方 については、代理投票制度があります。)
- インターネットによる選挙運動のうち、一定のものが解禁されました。適正な利用に努めましょう。
- 東日本大震災等の影響で別の市町村に避難されている方などは、避難先等の市町村選挙管理委員 会で不在者投票ができます。
- 選挙期日に仕事や旅行,レジャー, 冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由に該当すると見込 まれる方は期日前投票制度が利用できます。(期日前投票の時間は,一部の投票所を除き,午前8時 から午後8時までです。)

鹿児島県選挙管理委員会

選挙法第百六十九条第二項の規定に ょ り、 補 原 文 の ま まを 掲 たも

の

で

あ IJ

ま

す